

平成 28 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	6	学校名	茨城県立多賀高等学校					課程	全日制	学校長名	川崎 仁志					
教頭名	鈴木 好美							事務(室)長名	清水 久仁雄							
教職員数	教諭	43	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	61
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計		クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	普通科	104	136	175	103	157	117			436	356	20				

2 目指す学校像

- (1) 校訓「最善を尽くして颯爽たれ」の精神に則り、校是の「師弟同行・文武不岐」を学習活動及び特別活動の領域で実践させ、「知・徳・体」の総体である「人間力」の育成に努める。
- (2) キャリア教育の推進を図り、生徒自らの意思と責任で進路を主体的に選択する能力や態度を育成すると共に、社会に有意な人間性を養う。
- (3) 生徒を主体にした活気ある学校づくりを推進し、保護者及び地域社会に開かれ、信頼される学校を築く。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	授業の創意工夫の結果、全体の約8割の生徒が授業に真剣に取り組み、内容を十分に理解している。一方では、家庭学習が不足傾向にあり、その質と量の改善が求められている。試験前だけでなく、毎日の家庭学習習慣の定着を目指したい。	綿密な年間指導計画と授業の創意工夫により、「わかる授業」を展開し、基礎学力及び応用力を養成することが求められている。 ①シラバスに基づく授業と1単位時間(50分)の厳守、授業交換100% ②家庭学習時間の調査を踏まえた指導を継続し、毎日1時間の家庭学習時間達成率80% ③課題の設定等、家庭学習の充実、課題提出率90%
進路指導	大学見学会やキャリア見学会をはじめとする進路指導の充実を図ってきた結果、現在、毎年90%以上の進路希望が実現している。引き続き、授業の充実や早朝課外授業の実施等による基礎学力・応用力の向上と面接指導等を充実していきたい。	より満足度の高い進路決定を目指して、全体的なキャリア教育ときめ細かな面接指導による、生徒の能力・適性に応じた進路指導を進める。 ①シラバスの実施と改善 ②週2～3回課外授業への積極的な参加の促進 ③生徒面談5回と面接のある受験者に模擬面接練習5回の実施
生徒指導	「容儀指導」や「あいさつ指導」をねばり強く行った結果、80%強の生徒がルールを守り落ち着いた生活を送っている。その結果、地域の中学校及び住民、保護者からの評価も向上した。	より一層の生徒理解に努めていくことを通して、人間力育成の基盤を固める。 ①年8回の全体集会時の容儀指導と事後指導 ②PTA合同の年10回の容儀を含めた一斉登下校指導 ③交通ルール遵守指導を徹底させ、事故0を目指す
特別活動	学校生活の充実を図るため、1年生の前期については部活動全員加入とする。この期間後も継続する生徒がほとんどであり(約90%)、部活動の成果(全23部中県大会出場・県展入選が21部)顕著である。クラス減に伴い、行事の内容について見直しが求められている。	全員部加入による部活動加入率の維持 ①部活動加入率90%以上 施設の拡充。専門性を重視した顧問配置 ②施設管理の徹底 部室棟の整理整頓(年2回の大掃除、1か月に2回の定期検査 クラス数不均衡に対応した既存学校行事の検討

4 中期的目標

- (1) 普段の授業を大切にし、生徒の特性に応じた授業の展開を通して、自主的な学習による基礎力の養成と発展的な応用力の養成に努める。
 (2) 生徒の実態や特性を踏まえた教育課程の編成に努め、教科指導や面接指導を充実させて進路希望の達成を図る。
 (3) 家庭との連携のもと、授業・学校行事・HR活動等において心の教育に努め、人権・規範意識の養成に努める。
 (4) 生徒会活動・部活動・学校行事・HR活動の振興を図り、教師と生徒の望ましい人間関係を基盤とした、人間力の育成を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 授業を中心とした学習指導の充実	①授業時間の確保, 授業規律の確立 ②授業内容の創意工夫による「わかる授業」の展開及び応用力の育成 ③授業を通しての, 自ら学ぶ力の育成
(2) 希望進路の実現を目指した進路指導の質の充実及び強化	④国公立大学進学への対応 ⑤個に応じた進路指導の充実(面接指導の徹底)
(3) 社会的規範の中で行動できる自律心・基本的生活習慣の確立に努め, 併せて生徒の精神的な課題の組織的な対応	⑥基本的生活習慣の確立 ⑦あいさつの励行 ⑧問題行動の未然防止 ⑨保護者との密接な連携 ⑩スクールカウンセラーの活用
(4) 特別活動の振興と充実・強化	⑪部活動の加入率の促進 ⑫学校行事への積極的な取り組み ⑬ホームルーム活動の充実